



今月の展示 ＜クリスマス＞＆＜冬の本＞

図書室もクリスマスムードいっぱいです。

冬に読みたい小説や、しかけ絵本などを展示しました。

『不思議の国のアリス』 リス・キャロル／大日本絵画

『クリスマス・キャロル』 デイクズ／角川文庫

『雪だるまの雪子ちゃん』 江國香織／偕成社

『君にささやかな奇蹟を』 宇山佳祐／KADOKAWA



こちらもおすすめ♡

『雪の写真家 ベントレー』 ジャクリン・ブリッグス・マーティン／BL 出版

『思いがけない贈り物』 エヴァ・ハラー／講談社

『雪国』 川端康成／角川文庫

『賢者の贈り物・最後の葉』

オー・ハリー／KADOKAWA

＜人権週間＞

図書室では人権に関する本を展示しています。

1人1人が違うことを知り、それぞれの個性を大切にしましょう。

『「ちがい」ってなんだ？』『「ふつう」ってなんだ？』 学研プラス

障害とLGBTについて正しく学べ、理解を深めることができます。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 ブレディみかこ／新潮社付箋

イギリス在住の筆者が、地元で底辺中学校と呼ばれる学校へ通う息子の目を通して綴るエッセイ。

貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり、様々なことを考えさせられます。

『この顔と生きるということ』 岩井建樹／朝日新聞出版

外見の悩みとどう向き合う？どんな顔でも幸福な人生をおくるために。

見た目の悩みに直面した人々の人生をたどるルポルタージュ。

『みえるとかみえないとか』 ヨシタケシンスケ・伊藤亜紗／アリス館

東京工業大学准教授で「目の見えない人は世界をどう見ているのか」の著者の伊藤亜紗さんと2人で作った絵本。みんなの違い、同じところ、共生する面白さ、難しさを描いています。

『今、世界はあぶないのか？』 リーズ・スピリバーリほか／評論社

世界でおきている問題をみんなで考えていくシリーズです。

私たちにできることを考えてみましょう。



もうすぐ冬休み！

受験を控えて、落ち着かない毎日を過ごしている3年生へ

『高校受験すぐにできる40のこと』 中谷彰宏／PHP 研究所

「自分の名前を丁寧に書くだけで、落ち着ける。」

「左手を添えると、計算を間違えない。」など、受験のコツが40も載っています。

『心を整える。』 長谷部誠／幻冬舎

心は鍛えるものではなく、整えるもの。いかなる時も安定した心を備えることが、常に力を出せる秘訣！

『夢をかなえるゾウ』 水野敬也／文響社

ゾウの神様・ガネーシャが、関西弁でギャグを連発しながら偉人のエピソードをひもとき、夢のかなえ方を指南してくれます。

『国語は語彙力！受験に勝つ言葉の増やし方』 齋藤孝／PHP 研究所

語彙力を高めると、国語の成績が上がるのはもちろんのこと、友達や周りの人たちとより良い関係が築くことができ、毎日の生活や人生が豊かになります。

『大丈夫！キミならできる！』 松岡修造／河出文庫

「ポジティブ勘違い、バンザイ！」。勝負を挑むときや何かに躓いたとき・・・人生の岐路に立ったとき勇気が湧く、松岡修造の応援メッセージ。

1・2年生も読んでみてくださいね！

この他にも、勉強に関する本や面接、高校入試に出題された小説の展示もしています。



＜アドベントカレンダーあります♪＞

アドベントカレンダーには、

クリスマスの豆知識クイズ

が入っています。

正解した人には、クリスマスの

しおりをプレゼント♪

ぜひ足を運んでくださいね。

アドベントカレンダー⇒



アドベントカレンダーとは？
12月1日からクリスマス当日までの
24日間をカウントダウンする、期間
限定の特別なカレンダーのことです。

今年のベストセラーが発表されました！(日販調べ:2023.11.22～2024.11.21)

2024年のベストセラー総合第1位は・・・

「変な家2 ～11の間取り図～」(雨穴／飛鳥新社)でした。

あなたは、この「11の間取り」の謎が解けますか？前作に続き、フリーライターの筆者と設計士・栗原のコンビが不可解な間取りの謎に挑む。すべての謎が一つにつながったとき、きっとあなたは戦慄する！

下中で人気だった本は、3月に集計し発表しますのでお楽しみに♪



裏面も見てね⇒

< 最近届いた本とこれから届く予定の本の紹介 >



『白鳥とコウモリ』 東野圭吾／幻冬舎
遺体で発見された善良な弁護士。一人の男が殺害を自供し事件は解決一のはずだった。幸せな日々は、もう手放さなければならない。東野版『罪と罰』。



『架空犯』 東野圭吾／幻冬舎
誰にでも青春があった。被害者にも犯人にも、そして刑事にも。燃え落ちた屋敷から見つかったのは、都議会議員と元女優夫婦の遺体だった。華やかな人生を送ってきた二人に何が起きたのか。『白鳥とコウモリ』の世界再びシリーズ最新作。



『小説ブルーロック 戦いの前、僕らは。 潔・凼・蜂楽』 金城宗幸／講談社
『小説ブルーロック 戦いの前、僕らは。 千切・玲王・凵』 〃
「青い監獄(ブルーロック)」入寮前、最強ストライカーたちは何をしていたのかー！？
「ブルーロック」公式スピンオフ小説シリーズ！小説だけのエピソードで、キャラクターたちの知られざる一面が明らかに！ここだけの書きおろしイラストも収録！！



『身の回りから人権を考える 80 のヒント』 武部康広／解放出版社
日常にある身近な出来事のなかから、差別や人権に関するテーマや課題を解説。JA 滋賀で長年にわたり人権研修を担当してきた著者、珠玉の1冊。



『私のまんまで生きてきた。ありのままの自分で気持ちよく生きるための 100 の言葉』 平野レミ／ポプラ社
なんでも好きなことを一生懸命やってると、道が開ける。一生懸命な自分に気づいてくれる人がいて、活動の場が広がっていくの。ありのままの自分で気持ちよく生きるための100の言葉。



『いのちの食べかた』 森達也／イースト・プレス
魚は切り身で泳いじゃない。そんなことは知っている？じゃあ、毎日食べてる大好きな牛や豚のお肉はどこからどうやって、やってくるのだろうか？お肉がぼくらのご飯になるまでを詳細レポート。おいしいものを食べられるのは、数え切れない「誰か」がいるから。その「誰か」の支えで、ぼくらの暮らしは続いている。“知って自ら考える”ことの大切さを伝える、ベスト&ロングセラーの名作。



『余命一年一生分の幸せな恋』 miNatoほか／スターツ出版
最後に君と恋をして幸せでした。全力の恋に大号泣の余命短編集。「次の試合に勝ったら俺と付き合ってほしい」と告白をうけた余命わずかの郁(『きみと終わらない夏を永遠に』miNato)、余命を隠し文通を続ける楓香(『君まで1150キロメートル』永良サチ)、幼いころから生きることを諦めている梨乃(『君とともに生きていく』望月くらげ)、幼馴染と最期の約束を叶えたい美織(『余命三か月、「世界から私が消えた後」を紡ぐ』湊祥)、一余命を抱えた4人の少女が最期の時を迎えるまで。余命わずか、一生に一度の恋に涙する、感動の短編集。

お知らせ 冬休みの貸出について

12/16(月)から冬休み貸出期間が始まりました。

貸出冊数: 1人5冊まで

返却日: 3 学期が始まったら返してください。

★重要★

冬休み用に本を借りる前に、今借りている本は一度すべて返却してください。

3 冊増えます！



3 学期の図書室は 1 月8日(水)から開館です。
1 月には、お正月イベントを企画しています。
おみくじや絵馬、本の福袋などイベント盛りだくさん♪お楽しみに～。

また、秋の読書月間で行ったスタンプラリーは来年 3 月まで続けます。
10 個貯まった人ももう一度参加してくださいね！
達成者は図書室ドアに掲示してあります。

早いものでもう 2 学期が終わろうとしています。
今年はたくさん本が読めましたか？
もうすぐ来る冬休み。
なんとなくテレビを観ている時、なんとなくゲームをしている時、
なんとなく〇〇の時間に、本を読みませんか？
心の栄養補給をし、新年気持ちよくスタートできるようにしましょう！

累計貸出し状況 4月12日～11月30日まで

クラス	1年生	2年生	3年生
貸出冊数	222冊	126冊	461冊